

生徒の学びを支援する進路指導
—静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の分析を通して—
総合支援部高等学校支援課 高校第3班 実務研修員 山路 樹

1 主題設定の理由と研究の目的

図1は、2018年から2025年における文部科学省による調査「国公立大学・短期大学入学者選抜実施状況の概況」^[1]を基に、作成した国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の合格者数の推移である。図1より、総合型選抜と学校推薦型選抜の合格者数の合計は、2017年度から2024年度にかけて、年々増加していることが分かる。特に、総合型選抜の合格者数に着目すると、2024年度は、2017年度の2.5倍以上であった。

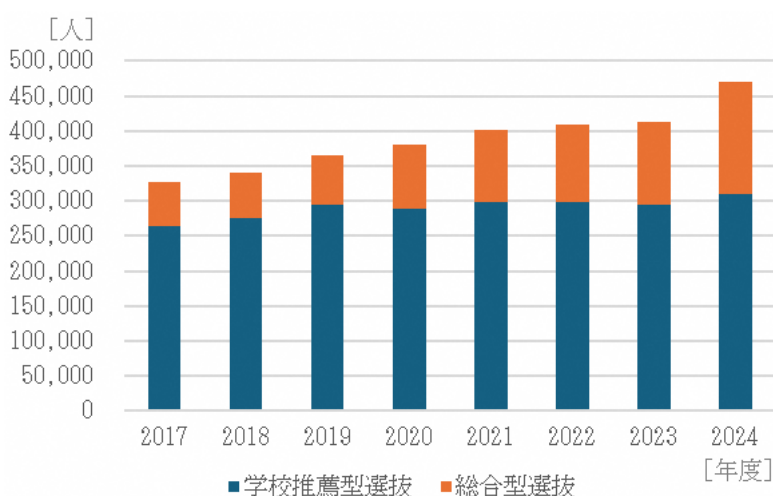


図1 国公立大学 総合型・学校推薦型選抜の合格者数の推移

このように総合型・学校推薦型選抜による合格者増加の背景には、2020年の文部科学省高等教育局大学振興課による「大学入試改革の状況について」^[2]に示されているように、「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」や「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価できる入試が求められていることが考えられる。

総合学科を有する研究協力校においても、総合型・学校推薦型選抜を利用する生徒の割合は年々増加しており、昨年度74%を占めた。しかし、研究協力校において、静岡県内国公立大学を志望するが、進路実現に至らない生徒が見られる。そこで本研究では、生徒の進路実現に繋がる知見を得ることを目的とし、静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の特徴を分析し、進路指導法の開発と検証を行う。

2 研究の内容

(1) 静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の分析(静岡県内公立高等学校生対象)

本節では、2020年度から2024年度の静岡県内公立高等学校生を対象に静岡県総合教育センターが行った「総合型選抜・学校推薦型選抜合否に関する調査」^[3]と2025年度の各大学の入学者選抜に関する要項等*²を基に、静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の評定平均と合否、大学入学共通テスト得点率と合否の関係性を分析する。研究を始めるにあたり、評定平均*¹が合否にどの程度、影響を与えているかを考えるために、合否分布図や合否散布図を作成し、評定平均と合否の関係について調べる。

ア 総合型選抜

静岡県内国公立大学では、静岡大学のみ総合型選抜を実施している。**図2**は、静岡大学総合型選抜合否分布図である。**図2**より、評定平均が3.8であっても合格している生徒がいる一方、評定平均が4.9でありながら、不合格になった生徒がいることが分かる。このことから、評定平均は、出願条件に留まっており、合否は大学が課す独自の選考方法により決定されることが考えられる。

表1は、静岡大学の「令和8年度入学者選抜に関する要項」^[4]を基に、総合型選抜選考方法をまとめたものである。**表1**の選考方法に着目すると、学力試験や聴講・論述試験に加え、面接試験が課されていることが分かる。また、情報学部を除くすべての学部において、面接試験の配点が総合得点の半分以上を占めていることが確認できる。

面接試験の基礎資料として、活用されることが推測される出願書類に、自己推薦書の様式がある。この様式を確認すると、「学科を志望する理由」や「入学後の抱負と将来の夢」、「今まで行ってきた様々な活動や体験を踏まえた自分のアピールできる個性又は能力」等の記述が求められている。この様式から、受験生が自身の経験を踏まえ、過去、現在、未来に一貫性を持たせて、面接の場で、論理的に表現する能力が求められていると考えられる。

大 学	静岡
学 部	グローバル共創科
学 科	グローバル共創科
評定平均	合否結果
5.0	○○
4.9	○○××
4.8	○○○○○○
4.7	○××××
4.6	○○○×
4.5	○○○○○
4.4	○××
4.3	○○○○○×
4.2	×
4.1	○××
4.0	○×××
3.9	××
3.8	○○○

大 学	静岡
学 部	人文社会科(昼間)
学 科	経済
評定平均	合否結果
5.0	○
4.9	○○○○○○○○○○○×
4.8	○○○○○○○××××
4.7	○○○××
4.6	○××××
4.5	○○×
4.4	××
4.3	○
4.2	×

大 学	静岡
学 部	工
学 科	化学バイオ工
評定平均	合否結果
5.0	
4.9	○○○×
4.8	○
4.7	○○○○
4.6	×
4.5	○
4.4	×××
4.3	○×
4.2	×
4.1	
4.0	○
3.9	
3.8	○
3.7	
3.6	×

大 学	静岡
学 部	工
学 科	機械工
評定平均	合否結果
5.0	
4.9	○
4.8	○×
4.7	××××××
4.6	××
4.5	×
4.4	○×××××
4.3	○××××
4.2	×
4.1	○
4.0	
3.9	×
3.8	○

大 学	静岡
学 部	工
学 科	電気電子工
評定平均	合否結果
5.0	○
4.9	○○○×
4.8	××
4.7	○○×××××
4.6	××
4.5	××
4.4	××××
4.3	×××
4.2	
4.1	○
4.0	×
3.9	
3.8	
3.7	××
3.6	×

大 学	静岡
学 部	情報
学 科	情報科
評定平均	合否結果
5.0	
4.9	○○○
4.8	○○○○○○○××××
4.7	○○○○○×××××××
4.6	○○○○○××
4.5	××
4.4	○×××
4.3	○○××××
4.2	×
4.1	×××
4.0	×
3.9	○
3.8	×
3.7	
3.6	×××
3.5	××

大 学	静岡
学 部	工
学 科	数理システム工
評定平均	合否結果
5.0	
4.9	
4.8	
4.7	○
4.6	○
4.5	
4.4	○×
4.3	×
4.2	○××××
4.1	×
4.0	×
3.9	○○×
3.8	○

大 学	静岡
学 部	農
学 科	生物資源科
評定平均	合否結果
5.0	○
4.9	○○○○○○○○○×
4.8	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
4.7	○○○○○○○××××××
4.6	○×××××
4.5	○××××
4.4	○○○○×
4.3	××××
4.2	××××
4.1	
4.0	×
3.9	○
3.8	××

※大学入学共通テストありの学部を除き、工学部・電子物質科学科は調査資料が3個以下であったため省略

図2 静岡大学 総合型選抜 合否分布図

表 1 静岡大学 総合型選抜 選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
グローバル共創科	グローバル共創科	評定平均3.8以上 +英語資格 (全学科) 評定平均3.8以上 +英語資格 (専門・総合)	100点	—	100点 (聴講+論述)	活動歴 報告書	200点
人文社会科	経済	評定平均4.3以上 +商業,英語,情報資格 (専門・総合)	100点	—	200点 (論述)	課題 レポート	300点
工	化学バイオ工	評定平均なし (全学科) 評定平均4.3以上 (専門・総合)	300点	300点(英・ 数Ⅰ,Ⅱ・化 学)	—	—	600点
工	機械工 電気電子工 電子物質科学	評定平均4.3以上 (専門・総合)	300点	300点(英・ 数・物理)	—	—	600点
工	数理システム工	評定平均なし (全学科) 評定平均4.3以上 (専門・総合)	300点	300点(英・ 数・物理)	—	—	600点
情報	情報科	評定平均なし (専門・総合)	—	200点(英+数 or・数・情)	第一次選抜		400点
					—	200点	
情報	情報科	評定平均なし (専門・総合)	300点	200点(英+数 or・数・情)	第二次選抜		500点
					—	—	
農	生物資源科	評定平均3.8以上 (専門・総合)	—	200点(化学基 礎・生物基礎)	第一次選抜		200点
					—	—	
農	生物資源科	評定平均3.8以上 (専門・総合)	200点	200点(化学基 礎・生物基礎)	第二次選抜		400点
					—	—	

※大学入学共通テストありの学部を除く

イ 学校推薦型選抜(大学入学共通テストなし)

図3は、静岡文化芸術大学学校推薦型選抜(大学入学共通テストなし)合否分布図である。図3より、評定平均が4.0以下で合格している生徒がいる一方、評定平均が4.9以上ありながら、不合格になった生徒がいることが分かる。このことから、静岡大学の総合型選抜同様、評定平均は、出願条件に留まっており、合否は大学が課す独自の選考方法により決定されることが考えられる。

大 学	静岡文化芸術	
学 部	文化政策	
学 科	文化政策	
評定平均	合否結果	
5.0	×	×
4.9	○	○
4.8	○	○
4.7	○	○
4.6	○	○
4.5	○	○
4.4	○	○
4.3	○	○
4.2	○	○
4.1	○	○
4.0	○	○

大 学	静岡文化芸術	
学 部	文化政策	
学 科	国際文化	
評定平均	合否結果	
5.0	○	○
4.9	○	○
4.8	○	○
4.7	○	○
4.6	○	○
4.5	○	○
4.4	○	○
4.3	○	○
4.2	○	○
4.1	○	○
4.0	○	○
3.9	○	○
3.8	○	○
3.7	×	×
3.6	×	×
3.5	×	×

図 3 静岡文化芸術大学 学校推薦型選抜(大学入学共通テストなし)合否分布図

表 2 は、静岡文化芸術大学の「入学者選抜要項・学生募集要項」^[5]を基に、学校推薦型選抜(大学入学共通テストなし)選考方法をまとめたものである。表 2 の選考方法に着目すると、面接試験や小論文試験が同じ配点で課されていることが確認できる。

また、面接試験の基礎資料として、活用されることが推測される出願書類に、志望理由書の様式がある。この様式を確認すると、「学科の志望理由」や「高校時代の活動を含めた自己PR」、「自分の将来に向けて、大学でやってみたいこと」の記述が求められている。この様式から、静岡大学の総合型選抜と同様に、受験生が自身の経験を踏まえ、過去、現在、未来の間に一貫性を持たせて、面接の場で論理的に表現する能力が求められていると考えられる。

表 2 静岡文化芸術大学 学校推薦型選抜(大学入学共通テストなし)選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
文化政策	国際文化 芸術文化 文化政策	評定平均4.0以上	100点	—	100点	—	200点
文化政策	英語重点型		100点	—	英語小論文 100点	—	200点
	国際文化	全3.8以上+英4.3以上 or全3.5以上+英語資格					
デザイン	デザイン	評定平均4.0以上	100点	—	100点	—	200点

ウ 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)

学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)においても、同様に可否の特徴を調べた。

図4は、静岡大学教育学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)合否散布図である。

図4より、評定平均、大学入学共通テスト得点率がともに低いのが合格している生徒がいることが分かる。一方で、評定平均、大学入学共通テスト得点率がともに高いにも関わらず、不合格となった生徒がいることも分かる。これらのことから、大学独自の選考方法が、可否に影響を与えた可能性があると考えられる。

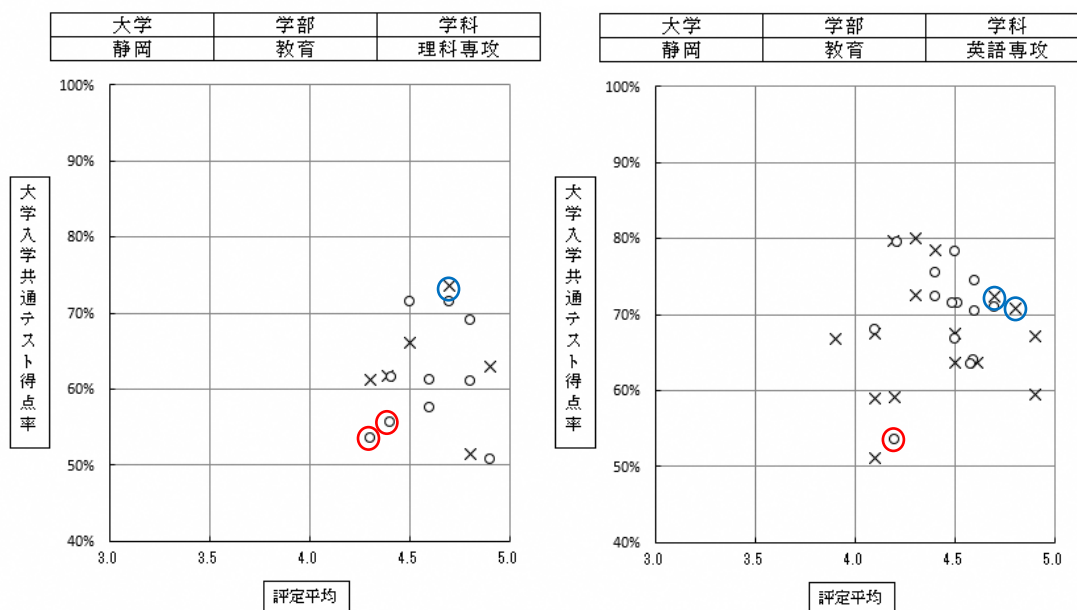


図4 静岡大学教育学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)

表3は、静岡大学の「令和8年度入学者選抜に関する要項」を基に静岡大学教育学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)選考方法をまとめたものである。表3より大学入学共通テストの配点に対して、面接試験の配点が2倍になっており、面接試験の得点が評定平均や大学入学共通テストの得点率に比べ、可否に影響を与えた可能性があると考えられる。

表3 静岡大学教育学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
教育	教育実践・教育心理・特別支援・初等学習開発・養護・国語・社会・理科	評定平均4.3以上	400点	8科目計200点	—	—	600点
教育	数学	評定平均4.3以上 数学ⅠⅡⅢAB履修	400点	8科目計200点	—	—	600点
教育	音楽	評定平均3.8以上	400点 (実技あり)	3科目計200点	—	—	600点
教育	美術	評定平均3.5以上	400点 (作品提出あり)	3科目計200点	—	—	600点
教育	保健体育	評定平均4.0以上	400点	8科目計200点	—	—	600点
教育	家庭	評定平均3.8以上	400点	8科目計200点	—	—	600点
教育	英語	評定平均3.8以上 +英語資格	400点	3科目計200点	—	—	600点

図5は、静岡大学工学部・静岡県立大学薬学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)合否散布図である。図5より、評定平均の軸に着目すると、合格者における、評定平均の最大値と最小値の差は、0.5以上開いていることが分かる。一方で、大学入学共通テスト得点率の軸に着目すると、合格者は、静岡大学工学部においては69%以上、静岡県立大学薬学部においては75%以上、の範囲にのみ分布していることが分かる。このことから前述までと同様に、大学独自の選考方法が、最終的な合否に影響を与えている可能性が高いと考えられる。

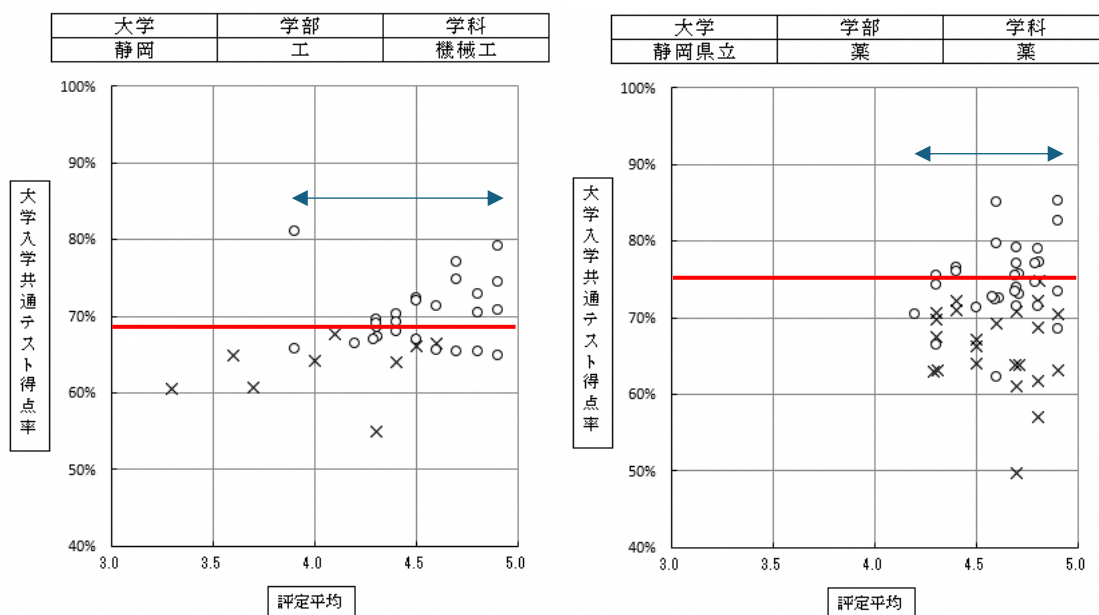


図5 静岡大学工学部・静岡県立大学薬学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 合否散布図

表4は、静岡大学の「令和8年度入学者選抜に関する要項」を基に、工学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)選考方法をまとめたものであり、表5は、静岡県立大学の「2026年度入学者選抜要項」^[6]を基に、薬学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)選考方法をまとめたものである。表4、表5より、これらの学部は、大学入学共通テストの配点が、面接試験の配点の2倍以上であることが確認できる。面接等の大学独自の選考方法が合否に影響を与える側面がある一方で、基礎学力試験の比重が大きく、大学入学共通テストにおいて、一定水準以上の得点が求められると考えられる。

表4 静岡大学工学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
工	機械工	—	100点	8科目 計730点	—	—	830点
工	電気電子工	—	300点	8科目 計700点	—	—	1,000点
工	電子物質科・ 化学バイオ工	—	300点	8科目 計730点	—	—	1,030点
工	数理システム工	—	150点	8科目 計650点	—	—	800点

表5 静岡県立大学薬学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
薬	薬学科 薬	評定平均4.3以上 (数・理・英の平均)	200点	7科目 計1750点	—	書類審査	1950点

図6は、浜松医科大学医学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)合否散布図である。図6より、評定平均の軸に着目すると、合格者の分布は1.0以上広域に分布して

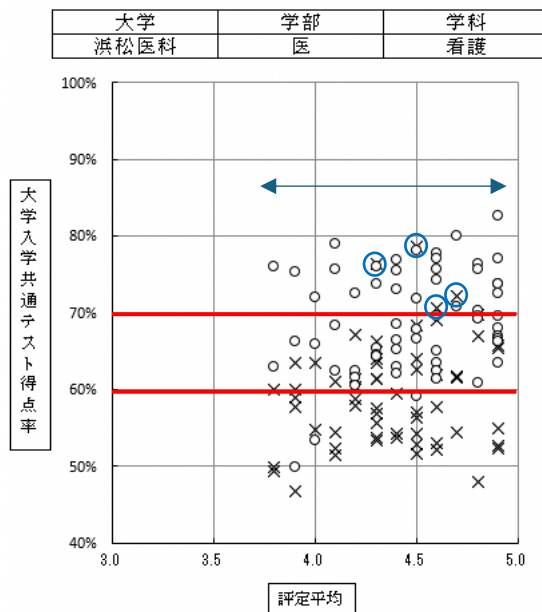


図6 浜松医科大学医学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 合否散布図

いることが分かる。一方、大学入学共通テスト得点率の軸に着目すると、得点率が60%から70%の層においては、合否が混在している状況が見て取れる。さらに、得点率が70%以上の層においては、大多数が合格しているものの、不合格者が4人存在している。このことから、評定平均は出願条件に留まっており、大学入学共通テストの得点率及び大学独自の選考方法が、合否を分ける要因となっていると考えられる。

表6は、浜松医科大学の「令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項」を基に、作成した医学部学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり)選考方法をまとめたものである。**表6**より、大学入学共通テストの配点と大学独自試験の配点は、ほぼ同じであることが確認できる。そのため、前述した**図6**において、大学入学共通テストの得点率が60%から70%取得した生徒は、大学独自の選抜方法が、合否を左右する要因になっていると考えられる。

表6 浜松医科大学医学部 学校推薦型選抜(大学入学共通テストあり) 選考方法

学部	学科	出願条件	面接	基礎学力試験	小論文・論述	書類等	合計
医	看護	評定平均3.8以上	150点	6科目 計375点	200点	書類審査	725点

以上の分析により、静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の評定平均は、出願条件を満たすためのものであると推測され、合格のためには、面接試験、学力試験、小論文・論述試験の対策が重要であると考えられる。

(2) 進路の手引き等*3から読み取った合格者の対策

静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の分析において、面接試験対策、学力試験対策、小論文・論述試験対策が必要であることから、静岡県内の各校の進路の手引き等に掲載されている合格体験記^[8]から、静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜の合格者の対策のうち、代表的なものを箇条書きでまとめる。

ア 面接試験対策

- ・オープンキャンパスに参加し、大学教授の研究内容に興味を持った。後に、商店街でボランティア活動に参加し、活動履歴報告書に学んだことや課題をまとめた。
- ・部活動や生徒会活動に積極的に参加し、「活動を通して何を学び、どのように自己が変容したか」を言語化した。
- ・保健室で養護教諭に寄り添ってもらった経験を契機に、地元へ恩返しをしたいという思いを抱き、県立病院での実習経験を通して志望動機を具体化した。
- ・農学系を志望し、高等学校で農業と環境について学び、インターンシップを行った。その経験を大学での志望動機と関連付けた。
- ・静岡大学主催のFFS(未来の科学者養成スクール)に参加し、クマムシの形態学についての研究を行い、成果をまとめた。
- ・大学のパンフレットから興味を見出し、大学教授の論文を精読した後に、高大接続事業に参加した。

- ・大学の求める人物像や学部のカリキュラムを調査し、自身の経験や強みを整理して、面接試験で表現した。

イ 学力試験対策

- ・学校生活における小テストや定期試験を大切にし、計画的に学習を進め、基礎学力を定着させた。
- ・WORLD-JAPAN(NHK)のニュースを英語で聞き、単語力や読解力、リスニング力を身に付けた。
- ・大学入試の過去問題に取り組み、教科書や問題集を用いて、基礎の再確認を行った。

ウ 小論文・論述試験対策

- ・環境関連の本を読んだり、新聞のスクラップをしたりして、地域や国際ニュースへの関心を高め、聴講・論述試験対策をした。
- ・小論文で原稿用紙の使い方に注意して、過去問題に取り組んだ。教員に添削指導をもらった後、書き直しをした。

進路の手引き等の合格体験記から読み取った合格者の対策より、面接試験対策において、自身の経験と大学での学びをどう繋げるのかを考えることが重要であると分かる。また、学力試験対策では、計画的・継続的に工夫して学習に取り組む必要があると考えられる。さらに、小論文・論述試験対策では、希望する学部・学科に関連した知識を身に付け、添削指導を受けることが有効であると考えられる。

(3) 「進路パスポート」を活用した進路指導の提案

本節では、面接試験、学力試験、小論文・論述試験対策のうち、特に、面接試験対策に繋がる手段の1つとして、「進路パスポート」に着目した。この「進路パスポート」は、文部科学省が提示している「キャリア・パスポート」例示資料等について^[9]を参考に作成した。「進路パスポート」を用いることで、生徒が3年生になってから、自身の経験を振り返るのではなく、各学年の学期ごと整理しておくことができる。さらに、生徒が自身の経験を振り返り、大学での学びにどう繋がるのかを考えることができる。その上で、志望理由書や自己推薦書等をまとめる際にも、役立つのではないかと考える。

図7は、作成した「進路パスポート」(目標)である。研究協力校の学校経営目標を基に、生徒が目指す姿として、身に付けたい能力を提示した。次に、生徒が身に付けたいことを選ぶ項目は、生徒が将来の目標と現在の行動を結び付けて考えるために重要であると考えた。また、学校では、年度始めは時間がないと考えられたため、この項目は簡素化し、選択式とした。



進路パスポート

- 目指す姿
- ① 授業や家庭学習を通して、学習習慣を身につけ基礎力をつける。
 - ② 体育祭や文化祭などの行事や部活動等を通して、自分のことをよく知り、相手を大切にしながら協力して活動できるようになる。
 - ③ 探究活動や校外活動を通して、社会への関心を高め、自身の考えを表現し、話し合えるようになる。

①. 1年間でどんなことを身に付けたいですか。(☑を入れてみよう)

- (あ)☐相手の意見を聞くこと (い)☐自分の考えを伝えること (う)☐自分の役割を果たすこと
 (え)☐他人と協力すること (お)☐主体的に行動すること (か)☐基本的な生活習慣を身につけること
 (き)☐課題を発見すること (く)☐課題を分析すること (け)☐課題を解決すること
 (こ)☐働くことの意義を考えること (さ)☐目標に向かって行動すること (し)☐地域社会に関わること
 (す)☐自分で考えてみよう()

図7 「進路パスポート」(目標)

図8は、「進路パスポート」(振り返り)である。生徒は各学期の終わりに、これを記入しながら、振り返りを行う。この項目では、年度初めに考えた身に付けたいことを振り返ることができるように工夫した。この構成により、生徒は目標達成状況を確認しながら、学校生活の様々な経験が、自分の成長に繋がっていることを実感できる。

②. 1学期を振り返って、力を入れて取り組んだことを記入してみよう。

場面：どれかに○する→ 授業・行事・部活動・探究・その他()例) 校外活動、資格取得など
どんなことをしたか：
どんな力を身に付けたか：①の(あ)~(す)より選択→ (), (), () ※複数選択可
考えたことや努力したこと：

図8 「進路パスポート」(振り返り)

図9は、「進路パスポート」(将来)である。将来どのような自分になりたいか、そのために今現在、何ができるかを考えさせることで、現在の学習や活動と将来の目標を結び付けることができると考えられる。また、「1年後の自分」「就職3年目の自分」といった時間軸を示すことで、長期的な視点で自分の人生を見通す機会としている。さらに、担任のコメント欄を設け、教員との対話を通して成長を支える仕組みとした。

⑤. 自身の興味があることや得意なことをまとめてみよう。

--

⑥. 卒業後の自分の進路について**どちらか**を記入しましょう。(現段階の自分の希望で、変わってきて構いません)

就職希望		進学希望(専門学校・短期大学・大学等)	
業種		学校名	
会社名		↑学部・学科までかけると素晴らしい!	
どんなことをしたいか		どんなことをしたいか	

⑦. 将来の自分はどのようになっていきたいか。そのために今できることは何か。

1年後の自分	今できること(何をどのように)
就職して3年目	今できること(何をどのように)

⑧. 今現在、進路に向けて努力していることを記入してみよう。

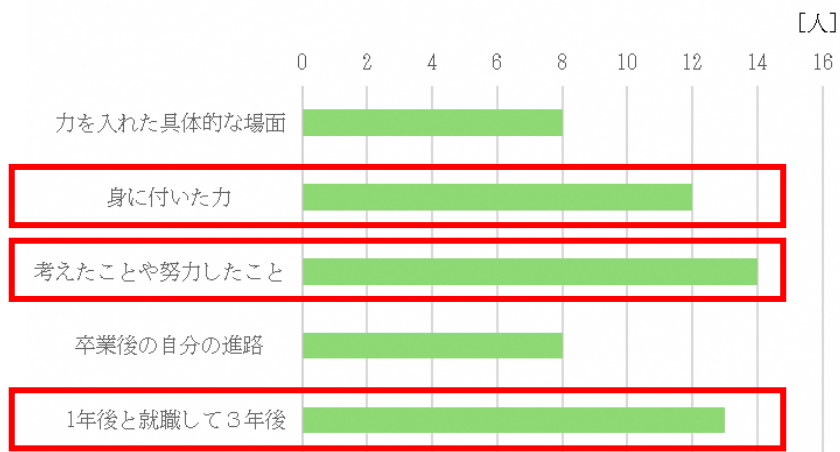
--

⑨. 担任の先生からのコメント

--

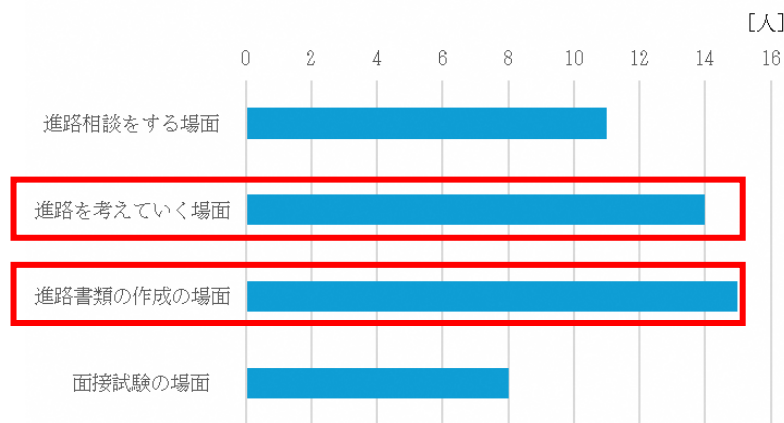
図9 「進路パスポート」(将来)

「進路パスポート」を作成した後、研究協力校の3年生の進路決定者26名に実際のシートへの記入を依頼し、自身の成長過程や努力の積み重ねを振り返ってもらった。その後、「進路パスポート」の改良を目的にアンケートを実施した。図10は、「進路パスポート」の中で役に立つと思う記載項目に対する回答結果、図11は、「進路パスポート」の中で役に立つと思う場面に對する回答結果である。図10、図11から「身に付けた力」や「考えたことや努力したこと」、「1年後と就職して3年後」といった記載項目が「進路を考えていく場面」や「進路書類の作成の場面」での役に立つと思うと回答した生徒が多いことが分かった。このことから、生徒がこれまでの活動経験や学習内容を振り返り、進路目標との関連を見出す手段の1つとして「進路パスポート」の有用性が感じられる。



※n=26 複数回答可とした

図10 「進路パスポート」の中で役に立つと思う記載項目



※n=26 複数回答可とした

図11 「進路パスポート」の中で役に立つと思う場面

一方で、アンケート結果からは、いくつかの改善点も明らかとなった。具体的には、「年度初めに自分で身に付けたい力を考えたい。」や「年度末の振り返りの中で、進路に向けて、頑張っていることを書ける項目があったらよかった。」といった意見が挙げられた。これらの結果は、「進路パスポート」が単なる記録用紙にとどまらず、目標設定と振り返りを往還させる構造を備える必要性を示唆している。また、「記入例があった方が書きやすいと思った。」という指摘もあった。これらを踏まえ、より実用的な「進路パスポート」へと改良した。

以上より、「進路パスポート」を改良しながら、活用していくことで、生徒が、自身の経験を整理して、未来に繋げることができると考えられる。また教員は、生徒の「思い」や「学習・活動歴」などを知ることができ、適切な進路指導と教員の負担が軽減できると考える。

3 研究のまとめ

本研究では、総合的な評価を重視する大学入試への移行を背景に、研究協力校の実態に合わせた形で、静岡県内国公立大学における総合型・学校推薦型選抜の分析を行った。過去5年間の進路調査データから合格に必要な要素を掴み、各校の進路の手引き等に掲載されている合格体験記を基に、試験対策について分析した。その内容として、静岡県内国公立大学の総合型・学校推薦型選抜では、評定平均は出願条件に留めており、すべての学部で面接試験が課されており、その対策の1つとして、これまでの経験とこれからの大学での学びについて整理し、表現することが必要になると考える。このことから、キャリア教育を通して生徒を支援することが大切になると感じた。そのため、本研究では「進路パスポート」を活用した進路指導の在り方を提案した。「進路パスポート」は、目標設定と振り返りを繰り返すことで、生徒が自らの成長を自覚し、経験を言語化する力を育成する支援手段の1つである。「進路パスポート」の改良を繰り返し、活用していくことで、進路実現に向け、生徒の学びを支援していきたいと考える。

【注釈】

- * 1 評定平均とは、調査書の全体の学習成績の状況のことを指す。
- * 2 選考方法に関する表の中で、出願条件は2025年度の入学選考方法を使用している。一方、合否分布図や合否散布図データは2020年度から2024年度に関するデータである。そのため、出願条件における評定平均より生徒の評定平均が低くても、合否が判定されているものがある。それに関しては、過去5年の間に、出願条件における評定平均が変化したと考えられる。
- * 3 静岡県の各校は進路実績や合格体験談などをまとめた冊子を作成しており、各校で、その名称が異なるため、ここでは「進路の手引き等」と表現する。

【参考文献】

- [1] 文部科学省. 国公立大学・短期大学入学者選抜実施状況の概況. 2018～2025.
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1346790.htm (参照 2026-03-09)
- [2] 文部科学省. 大学入試改革の状況について. 2020
https://www.mext.go.jp/content/20200124-mxt_sigsanji-1411620_00002_002.pdf
(参考 2025-12-10)
- [3] 静岡県総合教育センター「令和2年度～令和6年度の総合型選抜・学校推薦型選抜に関する調査」集計結果. 2021～2025
- [4] 静岡大学. 令和8年度入学者選抜に関する要項. 2025
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/boshu/> (参考 2025-12-19)
- [5] 静岡文化芸術大学. 入学者選抜要項・学生募集要項. 2025
<https://www.suac.ac.jp/exam/faculty/selectionmethods> (参考 2025-12-19)

[6] 静岡県立大学. 入学者選抜要項・入試概要. 2025

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/faculty/guide/f-request/>

(参考 2025-12-19)

[7] 浜松医科大学. 令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項. 2025

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/faculty/guideline/index.html>

(参考 2026-03-09)

[8] 静岡県総合教育センター. 静岡全県各校の進路の手引き等. 2023～2025

[9] 文部科学省. 「キャリア・パスポート」例示資料等について. 2019

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1419917.htm (参考 2026-01-06)